

環境に係る情報協議会

国営施設機能保全事業「余市地区」

1. 事業の概要(案)

本地区の農業水利施設は、干ばつ被害が生じていた樹園地へ畑地かんがい用水を供給するために、昭和51年～62年度に行われた「直轄かんがい排水事業 余市地区」により整備されたが、近年、ダム洪水吐コンクリートの摩耗や用水路(管水路)の腐食などの施設の機能低下が生じている。このため、本事業は、施設の機能低下が生じているダム・用水路について機能保全対策を実施することにより施設の長寿命化を図り、農業生産の維持及び農業経営の安定に資するものである。

- ・ダム 1箇所(補修)
- ・用水路 4条 L=4.7km(補修)

2. 地域の環境に対する考え方

(余市町田園環境整備マスタープラン・仁木町田園環境整備マスタープランより)

◆ 農村環境の現状

- ・余市川、ヌッチ川の流域には果樹園を中心とした農地が広がり、周囲を囲む山林は、優れた自然環境や豊かな生態系の基盤となっている。(余市町田園環境整備マスタープランより)
- ・余市川沿いの平坦地は地味肥沃で道内有数の果樹・そ菜・水稻などの農地が広がり、その周囲を総面積の8割を占める山林に囲まれている。(仁木町田園環境整備マスタープランより)

◆ 農村環境の課題

- ・水と緑を基調とした風土に根ざした個性的な環境づくりと、豊かな自然環境を保全するためのクリーン農業への取組みが課題である。(余市町田園環境整備マスタープランより)
- ・果樹園を中心とした田園風景、緑豊かな森林や清流余市川など、優れた自然環境の保全が求められている。(仁木町田園環境整備マスタープランより)

3. 環境配慮計画

① 魚類等の生息に配慮した仮設工配置 (ダムにおける施工時の配慮)

- ・コンクリート表面のケレン作業の際は、環境負荷の少ない工法(重曹ブラスト工法等)を選定するとともに、濁水処理施設を設置し、河川への濁水等の流出を抑制する。
- ・工事前後及び実施期間中は、水質のモニタリング調査を行う。

② 魚類等の生息に配慮した仮設工配置 (用水路における施工時の配慮)

- ・用水路における工事の際は、沈砂池等の濁水処理施設を設置し、河川への濁水等の流出を抑制する。
- ・工事前後及び実施期間中は、水質のモニタリング調査を行う。